

「利根川水系小貝川河川整備計画（原案）」について、
関係する住民からいただいたご意見

本資料は、関係する住民からいただいたご意見です。
ただし、個人に関する情報であって特定の個人を識別
できるものについては、黒塗りしています。

国土交通省関東地方整備局

(意見提出様式)

「利根川水系小貝川河川整備計画（原案）」に対する意見

① 氏名			
② 住所		(県名) 茨城県	(市町村名) 筑西市
③電話番号又はメールアドレス			
③ 年代		60歳以上	
意見該当箇所		④ ご意見	
章	頁	(意見ごとにできるだけ200字以内で記載してください)	
5. 河川の整備の実施に関する事項 5.1.1 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する事項・内水対策	11～12	【意見1】 河間土地改良区では、小貝川河川災害復旧等関連緊急事業にて造成された八田上排水樋管を筑西市より管理再委託を受け、現在も管理受託している。 令和元年10月飛来した台風19号による大雨により、栃木県側から流れて来る排水が八田上排水樋管を経て小貝川へ排出するが、河川水位上昇により排水しきれなく、当土地改良区受益地内で内水被害が生じた。 今後、このような豪雨が発生する可能性は十分にあり、その対策として八田上排水樋管から約600m下流にある八田下排水樋管までの区間を、排水路整備をし、八田下排水樋管を八田上排水樋管の規模に改修し排水する事で、内水被害が起こらない様、内水対策をすべきではないか。	
		【意見2】 意見1のもう一つの対策としては、八田上排水樋管と八田下排水樋管の間にある井出蛸沢堰(コンクリート固定堰)を可動堰に改修すべきではないか。	
		【意見3】 非常時の場合は、排水樋管の開閉作業を急遽、夜間に行なわなければならないケースもあり、また、台風による暴風、豪雨の中で作業を行わなければならない恐れもある為、作業者が自宅を出て現場へ着くまでの間また、作業中も非常に危険であり人命に関わる事も考えられる。上記を勘案すると、排水樋管の開閉についてはシステム化し、水位計や流速計等(逆流センサー)を設置する事により、自動で開閉するような人力に頼らない方法が望ましいと考えられる。	